

# 大和郡山 防災ニュース 29. 10月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

## 台風21号で避難勧告発令

### あなたはなぜ避難しなかったのですか？

去る10月22日午後から23日未明にかけて、台風21号が奈良県に接近し、秋雨前線とも相まって、大雨をもたらしました。

22日

午後3時00分

市では、台風による被害を想定し、早めの避難を促すために市内の7つの公民館(矢田コミュニティ会館を含む)を自主避難所として開設し、市民安全メール、ホームページでお知らせしました。

午後4時20分

佐保川、地蔵院川が危険水位に達し、洪水発生の可能性が出てきたため、緊急速報メールや消防団の広報で流域9町対象の避難準備情報を発信、新たに筒井小学校、昭和小学校、郡山南中学校、郡山東中学校を避難所として開設しました。

午後6時15分

大和川の水位も危険となり、流域6町対象の避難準備情報を発信しました。

午後7時40分

矢田丘陵周辺で土砂災害の可能性が出てきたため、周辺4町対象の避難準備情報を発信しました。

午後10時20分

佐保川、地蔵院川の水位はその後上がり続け、氾濫のおそれが出てきたため、流域10町に避難勧告を発信しました。実際、地蔵院川では流水があふれて、地元自治会、消防団が市の提供した土嚢を積むなどの対応をしました。

避難所は翌朝まで(矢田丘陵周辺はお昼前まで)開設しました。

上記の情報や勧告を受けて、指定避難所へ避難された住民は市内全域で86名でした。地域によっては、自治会が独自に避難場所を提供したり、指定避難所に自治会の役員が見回りに来られたりということも聞いております。自治会、自主防災組織の皆様にはたいへんをお世話をおかけしました。

また避難所への避難者以外にも、強風の中、屋外へ出るリスクを考

慮して、自宅の2階に垂直避難されたり、台風の接近前に地形的に安全なご親戚の家などに避難していた方もいらっしゃると思います。

ただ、たぶん自分は大丈夫だろう、とか、今まで何度も台風が来ても何ともなかった、という理由で避難を見送った方はおられないでしょうか？

ご存じのとおり、大和川下流の町村では現実に水害が発生しています。矢田丘陵も一部崩れた箇所があります。実は郡山もあとわずかで大災害というぎりぎりの状況だったのです。

災害において、まず一番に、自分の命を守ることができるのは自分であり、家族です⇒【自助】。

## 空振りは許されるが、見送りは許されない

今、防災においては、「空振りには許されるが、見送りは許されない。」という考え方が広がっています。防災行政担当者がもし災害が起こらなかった時の苦情などを恐れて、避難の勧告などを見送ることは許されない、ということです。これは、過去の災害において、勧告を躊躇したことで人命が失われた経過を踏まえ、例え空振りになったとしても、住民に情報を伝え、避難を促すことを恐れてはいけないということで、国や県からも指導を受けています。

このことで、住民の皆さんにもお願いしたいのですが、災害については「たぶん-----だろう。」ではなく、「もしかして-----かもしれない。」で対応してほしいのです。

特に台風は、その進路や時間が、事前の情報である程度予想できますので、市ホームページや登録制の市民安全メールで自主避難所の開設をお知らせした時は、高齢者などの要支援者で避難に時間がかかる方には、早めの行動をお願いすると共に、自主防災組織などにおいては、地域の要支援者へも、このことをお伝えいただきたいのです。もちろん、避難準備情報の発令時も同様です。

東日本大震災の時、多くの命を救ったのは、先入観なく、地震が来たら高いところへ逃げるといった行動をおこした子供たちでした。

今後、市からも情報発信してまいりますので、災害への心の備えについてよろしく願いいたします。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください!

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課